

2023年8月7日

各位

日本マニュファクチャリングサービス株式会社

## 持続可能な社会の発展に向けた取り組みを強化

### CO<sub>2</sub>排出量の削減目標数値を設定

日本マニュファクチャリングサービス株式会社（以下、nms）では、脱炭素社会の実現に向けた社会的な取り組みの一環として、事業活動によって排出されるCO<sub>2</sub>を2030年までに約15%削減することをめざします。

nmsホールディングスグループでは、サステナビリティへの取り組みは、企業が果たしていく社会的責任であり、事業活動を通じ社会の持続的発展につながる価値を生み出していくことが責務であると認識し、経営理念においてもこの考えを掲げています。

社会の持続的発展は永続的なテーマであり、一朝一夕で成し遂げられるものではありません。社会が求めるニーズは年々高度化していくことが考えられ、サステナビリティへの取り組みは、短期的思考ではなく、長期的思考でとらえたものとしていくとともに、この取り組みが当社グループの持続的成長につながっていくことが重要であると考えております。

当社グループの取り組みは、中期経営計画と同期化させ、期間（フェーズ）ごとにテーマを設定し、長期的視点で進めていくことを基本方針としています。2023年度から3年間となる中期経営計画期間では、取り組むテーマとして「環境」「社会」「ガバナンス」、この3つを柱として設定し活動を進めてまいります。

nmsは、グループの方針を具現化するための施策の一つとして、事業活動によって排出されるCO<sub>2</sub>の削減をめざします。具体的な削減項目および削減目標数値は以下の通りとなります。

#### 【削減目標数値】

温室効果ガス排出量※	2022年実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	2030年目標値 [t-CO <sub>2</sub> ]	削減率
スコープ1	—	—	—
スコープ2	11.4576	9.548	16.7%
スコープ3	359.7066	304.39882	15.4%
合計	371.1642	313.94682	15.5%

※環境省作成の温室効果ガス排出量算定支援ツールに基づいて算出しております。

スコープ1：事業所での燃料の燃焼等による温室効果ガスの直接排出量

スコープ2：本社・支店における電力使用により生じる温室効果ガス排出量

スコープ3：社有車使用により生じる温室効果ガス排出量

nmsは、今後もCO<sub>2</sub>削減をはじめとした、サステナビリティへの取り組みを進めるとともに、社会の持続的発展に貢献してまいります。

以上